

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社
 コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本 信明
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 054-354-5000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	63,170	—	399	—	1,330	—	757	—
20年3月期第3四半期	63,085	0.4	116	△63.6	892	△17.7	639	2.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	36.88	—
20年3月期第3四半期	31.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭
21年3月期第3四半期	45,151	—	20,495	—	45.4	998.50
20年3月期	46,193	—	21,131	—	45.7	1,029.36

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 20,495百万円 20年3月期 21,131百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	80,500	0.5	100	143.9	1,200	35.6	700	109.6	34.10

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	20,650,731株	20年3月期	20,650,731株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	124,614株	20年3月期	121,739株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	20,527,413株	20年3月期第3四半期	20,529,975株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、消費の低迷や原材料価格の高止まりなどによる厳しい経営環境のなか、「キッチンと！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を引き続き実施して需要の喚起に努めました。消費者の生活防衛意識の一層の高まりもあり販売数量は減少しましたが、前期に実施した価格改定の効果により、売上高は631億70百万円（前年同期比0.1%増）となりました。これにより売上総利益は微増、諸費用の節減もあり営業利益は3億99百万円（前年同期は1億16百万円）となりました。(株)マルアイ他の株式取得にともなう負ののれん償却額3億77百万円を営業外収益に計上し、経常利益は13億30百万円（前年同期比49.1%増）、四半期純利益は7億57百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年同期業績および比較増減については参考として記載しています。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

(単位：千円、%)

製品群			期別	前年同期（参考）		当第3四半期（累計）		増減	
				金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ	27,613,484	43.8	27,741,721	43.9	128,237	0.5	
		デザート	4,357,433	6.9	3,891,216	6.2	△ 466,216	△ 10.7	
		パスタ&ソース	4,973,432	7.9	6,507,575	10.3	1,534,142	30.8	
		総菜	5,242,878	8.3	4,435,071	7.0	△ 807,806	△ 15.4	
		花かつお・海苔・ふりかけ類	5,008,458	7.9	5,506,470	8.7	498,012	9.9	
		ギフトセット・その他食品	4,271,467	6.8	4,145,625	6.6	△ 125,842	△ 2.9	
		計	51,467,153	81.6	52,227,680	82.7	760,526	1.5	
	業務用食品		8,669,458	13.7	8,278,070	13.1	△ 391,387	△ 4.5	
	ペットフード・バイオ他		2,067,456	3.3	2,074,887	3.3	7,430	0.4	
	計		62,204,068	98.6	62,580,638	99.1	376,569	0.6	
その他	不動産賃貸他	881,286	1.4	589,587	0.9	△ 291,698	△ 33.1		
合計			63,085,355	100.0	63,170,225	100.0	84,870	0.1	

(注) 上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、販売促進の重点をきはだ鮪製品からシフトしたかつお製品が好調に推移しました。新製品「シーチキンPLUS」シリーズの投入もあり当製品群の売上高は前年同期比0.5%増加しました。「デザート」では、輸入フルーツが低調な販売となり、当製品群の売上高は前年同期比10.7%減少しました。「パスタ&ソース」では、パスタの価格改定効果に加えメニュー提案など販売促進企画の積極的な展開により、当製品群の売上高は前年同期比30.8%増加しました。「総菜」では、「シャキッとコーン」や青魚の「健康」シリーズの販売が低調で当製品群の売上高は前年同期比15.4%減少しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパックを中心に販売促進機会の増加により、当製品群の売上高は前年同期比9.9%増加しました。「ギフトセット・その他食品」では、総じて加工食品ギフトの需要が低迷したこともありギフトセットの販売が振るわず、当製品群の売上高は前年同期比2.9%減少しました。「業務用食品」では、主力のツナ、フルーツ缶詰、コーン缶詰などの外食向けの販売が低迷し、当製品群の売上高は前年同期比4.5%減少しました。「ペットフード・バイオ他」では、国産ペットフードの販売が好調に推移し、当製品群の売上高は前年同期比0.4%増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より10億41百万円減少し、451億51百万円となりました。これは、主に売掛債権が32億75百万円増加したものの、現金及び預金が3億84百万円減少したこと、たな卸資産が14億91百万円減少したこと、有形固定資産が3億53百万円減少したこと、株式市況の悪化により投資有価証券が16億51百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より4億5百万円減少して、246億56百万円となりました。これは、主に販売促進引当金が13億28百万円増加したものの、未払金が8億48百万円減少したこと、投資有価証券の含み益が減少したこと等により繰延税金負債が6億65百万円減少したこと、負ののれんを3億77百万円償却したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より6億36百万円減少して、204億95百万円となりました。これは、主に利益剰余金が4億49百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が10億7百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.7%から45.4%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の連結業績は順調に推移しました。しかし、第4四半期での経営環境は消費の低迷など不透明感が一層高まると懸念されるため、通期連結業績予想は平成20年10月31日の発表から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②棚卸資産の評価基準および評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として月次総平均法による低価法によっていましたが、第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日)が適用されたことにともない、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。

これにより当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ 16,604 千円増加しています。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,958	1,547,162
受取手形及び売掛金	17,091,756	13,816,662
商品	63,340	75,977
製品	4,442,117	5,744,361
半製品	289,110	383,469
原材料	3,250,351	3,342,458
仕掛品	202,475	193,098
その他	1,574,390	1,971,096
貸倒引当金	△30,364	△18,697
流動資産合計	28,046,136	27,055,589
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,937,784	4,946,334
その他(純額)	5,565,194	5,910,107
有形固定資産合計	10,502,979	10,856,442
無形固定資産	340,112	354,961
投資その他の資産		
投資有価証券	5,901,533	7,553,506
その他	379,697	397,754
貸倒引当金	△19,070	△25,150
投資その他の資産合計	6,262,160	7,926,110
固定資産合計	17,105,251	19,137,513
資産合計	45,151,387	46,193,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,501,918	13,840,160
短期借入金	2,531,660	2,081,660
未払金	2,650,024	3,498,989
未払法人税等	362,036	143,408
販売促進引当金	1,396,323	67,327
その他の引当金	422,944	488,608
その他	854,113	590,473
流動負債合計	21,719,021	20,710,627
固定負債		
長期借入金	386,680	768,340
退職給付引当金	378,558	348,877
役員退職慰労引当金	494,541	476,559
負ののれん	629,522	1,007,236
その他	1,047,698	1,749,781
固定負債合計	2,937,000	4,350,794
負債合計	24,656,022	25,061,422

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,549
利益剰余金	16,860,403	16,411,221
自己株式	△123,385	△120,716
株主資本合計	19,121,199	18,674,723
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,860,277	2,867,694
繰延ヘッジ損益	△116,834	△89,264
為替換算調整勘定	△369,276	△321,472
評価・換算差額等合計	1,374,166	2,456,956
純資産合計	20,495,365	21,131,680
負債純資産合計	45,151,387	46,193,103

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	63,170,225
売上原価	43,615,811
売上総利益	19,554,413
販売費及び一般管理費	19,154,623
営業利益	399,790
営業外収益	
受取利息	648
受取配当金	161,406
負ののれん償却額	377,713
持分法による投資利益	49,587
受取手数料	265,743
その他	209,584
営業外収益合計	1,064,683
営業外費用	
支払利息	18,269
その他	116,001
営業外費用合計	134,270
経常利益	1,330,203
特別利益	
貸倒引当金戻入額	68
固定資産売却益	2,613
投資有価証券売却益	72
補助金収入	11,503
受取補償金	7,212
特別利益合計	21,469
特別損失	
貸倒引当金繰入額	1,896
固定資産除却損	46,789
固定資産売却損	2,654
投資有価証券売却損	24
ゴルフ会員権評価損	2,020
製品回収関連費用	96,669
特別損失合計	150,054
税金等調整前四半期純利益	1,201,618
法人税等	444,520
四半期純利益	757,098

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	63,085,355
II 売上原価	43,663,969
売上総利益	19,421,385
III 販売費及び一般管理費	19,304,394
営業利益	116,990
IV 営業外収益	909,662
V 営業外費用	134,556
経常利益	892,097
VI 特別利益	10,763
VII 特別損失	75,081
税金等調整前四半期純利益	827,779
法人税等	188,750
四半期純利益	639,028